

社会福祉法人都市社会福祉協議会 令和4年度第2回評議員会 議事録

招集通知年月日	令和4年5月24日(火)
開催日時	令和4年6月8日(水) 13時30分～14時12分
開催場所	都市総合福祉会館2階会議室
出席した評議員	評議員15名(評議員定数7名以上24名以内) 瀬戸山敏朗、萬徳雄一郎、前田洋美、淵上澄雄、迫田善子、榎木やすよ、前田薫、新原明義、八反田久実、肥後信行、豊留なほ子、黒木貴則、前原修、渡邊一生、日高覚助
欠席した評議員	評議員6名 新村仁志、湯田光、溝口常彦、川口貴博、坂本三智代、石原祥子
説明のため出席した役員	理事2名 会長 島津久友、常務理事 杉元智子 監事2名 高野眞、坊野国治
説明のため出席した職員	事務局10名 大田勝信、田村真一郎、児玉誠、櫻田賢治、森山慎悟、星村太一、又木勝人、黒原清美、栗山将平、永田晃作
招集者出席の有無	会長 島津久友 出席
議事録作成職務者	永田晃作
議事の結果	

定刻に至り、事務局栗山将平が開会を宣言。まず、定款に基づき、会議の成立を確認。次に定款に基づき、榎木やすよ評議員を議長に選任し、議長は、瀬戸山敏朗評議員、前田薫評議員を議事録署名人に指名して、直ちに議事に入った。

審議の結果、次表のとおり、全会一致で議決された。

議案第2号	令和3年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業報告について	可決
議案第3号	令和3年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について	可決
監査報告		

終 了 時 刻 14時12分

議 事 の 経 過

榎木やすよ議長「私、NPO法人あなたの街の応援団の榎木やすよと申します。孤立防止活動をしている団体になります。よろしくお願ひいたします。それではさっそく議事に入らせていただきます。まず、議案第2号令和3年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業報告について、議案第3号令和3年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について、両議案は関連がございますので一括して事務局より説明をお願いいたします。」

事務局大田勝信「皆様こんにちは。事務局の大田です。私が議案第2号、議案第3号の説明をさせていただきますが、説明にあたってお断り申し上げます。先程資料確認がありましたが、説明は社協ガイドブックにダイジェストをまとめておりますので、こちらで報告をさせていただきます。

きます。前方のスクリーンにパワーポイントで映しながら説明をしますが、お手元資料と同じものになります。進行具合を見ながら説明させていただきます。」

事務局大田勝信「議案書1ページ、議案第2号令和3年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業報告について、並びに議案書2ページ、議案第3号令和3年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について、いずれも令和3年度事業が令和4年3月31日をもって完了いたしましたので、定款第12条第1項第5号の規定に基づき、評議員会の承認を求めます。それでは、事業報告について社協ガイドブックをご覧ください。」（以下、資料に基づいて説明）

事務局大田勝信「続きまして、社協ガイドブックの⑩社協の経営状況、19ページをご覧ください。こちらを通して社会福祉事業会計の決算を報告いたします。決算報告書には各事業ごとに収支の決算を掲載しており、総括して報告させていただきます。」（以下、資料に基づいて説明）

議長「ありがとうございました。ただいま議案第2号、議案第3号について説明がありましたが、監査報告を監事よりお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。」

高野眞監事「皆様こんにちは。監事の高野でございます。それでは監査報告をさせていただきます。議案書3ページに監査報告を記載しておりますが、これについてご報告いたします。私たち監事は、去る令和4年5月16日に令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の事業、会計並びに理事の職務執行について監査を行いました。まず、大きな項目1、監査の方法及びその内容については、この監査報告書に記載のとおりです。これら報告、調査、検討に基づいて次の項目2、監査意見がございますが、（1）事業報告等の監査結果については私高野が、それから（2）計算関係書類及び財産目録の監査結果については坊野監事からそれぞれ報告させていただきます。まず、私が（1）事業報告等の監査結果についてご報告いたします。①事業報告等は、法令及び定款に従って、法人の状況を正しく示しているものと認めます。これについて若干補足説明をいたします。令和3年度当初の事業計画書と、あらかじめ提出いただいた令和3年度事業報告書とをすり合わせながら、業務執行状況について、担当課長より詳細な説明を受けました。先程、事務局から丁寧な説明がありましたように、令和3年度は現在もそうですが、令和2年度から引き続く新型コロナウイルス感染拡大が日常生活に大きく影響しまして、結果として経済的ニーズをはじめとするそれぞれのジャンルでのニーズが拡大したこと、業務遂行の制限、そして何よりも市民の活動、ボランティア活動の制限などマイナスの継続が顕著であったという報告を受けております。しかしながら、そういった社会的状況の中にあって、社協内のそれぞれの関係部署はもちろんのことですが、関係各機関や団体の枠を超えて福祉的課題を抱えるニーズに寄り添い、課題解決に向けた積極的な取り組みが確認できたことはよかったですと思っております。また、社協の取り組みは個々の生活支援だけに留まらず、生活環境を評価、アセスメントし、整備していることです。これはウィズコロナを見据えて、これからの福祉の在り方を変える大きな原動力になるのではないかと期待しております。今のうちに過去の取り組みをしっかりと総括し、新たな支え合いを構築したいものです。事業報告書については皆様もすでにお読みになったかと存じますが、内容も表記の仕方も非常にわかりやすく、すっきりした報告書になっています。全体の事業活動の総括を理解するには事業報告書の20ページ以降、それから事業ごとの詳細については30ページ以降の個別シートに記載があります。令和3年度当初の事業計画書に令和3年度の実践目標という具体的な実践目標や数値目標、達成目標のための手段等、達成評価基準などが定めてあります。それに基づいて事業報告書の個別シートの事業成果欄に当初立てた目標ごとの成果として工夫されて記載され、理解しやすいものとなっております。これは事業報告書として大変評価できることではないかと監事としてご意見申し上げます。次に、②理事の職務執行状況についてです。理事、あるいは理事会による法人運営が定款の目的や法令等に基づいて適切に行われ、実際の法人の業務執行に問題なく、合理的に行われているかという監査の視点に基づいて実施いたしました。

理事会等の法人に関する関係書類等の精査の結果、出席状況、議事録等の作成、登記等の法人運営、法人業務の執行については適切に処理されておりました。以上のことから理事の職務に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。それぞれの事業展開が部署によって違いますが、地域福祉を軸にした展開が大切です。特に生活者の視点に立った、住民主体の原則が優先されなければなりません。そういう視点で地域福祉の中核的な存在としての社協が経営責任を果たし、経営の健全化の努力のために事業評価の仕組みを充実させていくことも期待しているところでございます。以上、意見を添えて業務監査報告といたします。会計監査については坊野監事からご報告いたします。」

坊野国治監事「皆様お疲れさまです。監事の坊野です。令和3年度の収入支出決算会計について監査報告を申し上げます。去る令和4年5月16日、午前9時30分から午後3時30分まで総合社会福祉センター1階会長室で監査を実施いたしました。私と柿木監事が会計監査について、それぞれ拠点区分ごとに法人運営事業、地域福祉活動推進事業、障害福祉支援事業、障害福祉サービス事業、介護保険等事業、保育事業などを担当者から執行状況の聞き取り、精査を行いました。その結果、当該年度の事業報告、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、および財産目録などについて、この内容を証するための契約書綴り等の関係帳簿、債権証書、定期預金証書、預金通帳等の証拠書類等を慎重に監査しましたところ、お手持ち議案書3ページの監査報告書に記しているとおおり、いずれも適正に示しているものと認めます。以上、監査報告を申し上げます。なお、令和元年9月13日付厚生労働省連名通知、社会福祉法人指導監査実施要綱の制定に基づく一部改正に準じて、監査を実施しております。また、社会福祉法人の新会計基準決算チェックリストの確認を行い、写しを島津会長に交付し、会長に財務会計に関する事務処理体制に対する支援業務実施報告書を交付しておりますので併せてご報告させていただきます。以上でございます。」

議長「ありがとうございました。それでは、先程の事務局の説明あるいは監査報告を受けまして、議案第2号、議案第3号について、何か皆様からご質問はありませんでしょうか。」

萬徳雄一郎評議員「社協ガイドブック19ページに示されている介護保険事業、保育事業については、円グラフと右表に示された金額が違いますが、どちらが正しい金額でしょうか。」

事務局大田勝信「ご指摘ありがとうございます。社協ガイドブック19ページの数字の間違いを指摘いただきましたが、円グラフの数字が誤っております。右の表にある介護保険事業2億9千5百18万4千188円、保育事業3億2千6百9万5千815円が正しい数字となりますので訂正をお願いいたします。」

議長「ただいまの回答でよろしいでしょうか。」

萬徳雄一郎評議員「はい。ありがとうございました。」

議長「その他にご質問はないでしょうか。」

議長「質問がないようですので、採決を行います。まず、議案第2号令和3年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会事業報告について、原案のとおりご承認をいただけたものとして扱わせていただいでよろしいでしょうか。」

“異議なし”の声あり、

議長「ありがとうございます。異議なしと認めます。従いまして議案第2号は原案のとおり可決されました。」

議長「続きまして、議案第3号の採決を行います。社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について、原案のとおりご承認をいただけたものとして扱わせていただいでよろしいでしょうか。」

“異議なし”の声あり、

議長「ありがとうございます。異議なしと認めます。従いまして議案第3号は原案のとおり可決されました。」

議長「以上で議案はすべて終了しましたが、ご出席の皆様から何かありませんでしょうか。」

議長「ないようですので、これで議事については終了とし、私議長の役目は退任させていただきます。ご協力ありがとうございました。」

事務局栗山将平「それでは、以上をもちまして令和4年度第2回評議員会を閉会いたします。皆様ご協力ありがとうございました。」

以上の議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名人は議事録に記名押印する。

令和4年 月 日

議長 _____ 印

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印